

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成熟
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2022 年
3 月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

社会で必要な「汎用性」のある力を伸ばすには？

～「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性」はありますか～

日頃は毎月の育脳トライアルの感想文をご記入いただき感謝致します。お忙しいとは思いますがこれからも毎月我が子の学習意欲向上のため、引き続きどうぞご協力お願い致します。



今配布している感想文の用紙には Yahoo JAPAN の入社試験の問題を掲載しています。

「風が吹けば桶屋が儲かる」の論理展開の要領で、「ロングのヘアスタイルが流行る（起）と、牛丼が 98 円になる（結）にたどり着くまでに必要な、その間（起と結の間）に起こった 4 つの事柄を解説してください。

要するに起・承・転・結の「承」と「転」を考える問題です。

最近の入社試験は難しいですね。我々が就職活動をしている時にはこんな問題を目にすることは無かったので、今の子たちは大変です（笑）

今回の感想文は裏面に上記問題の解答をご記入くださっている方も多く、とても楽しみながら拝見させて頂いています(^)

「柔軟な発想」や「思考力」を育むには・・・

今回ご提出頂いた感想文で、「しっかり考えて下さっているんだな～」と感じられる、とても正直な気持ちを書いて下さったものがあったので、紹介させていただきます。

Yahoo JAPANの入社試験では、以下のような問題が出されたそうです。

「風が吹けば桶屋が儲かる」の論理展開の要領で、「ロングのヘアースタイルがはやる（起）と、牛丼が98円になる（結）に辿り着くまでに必要な、その間（起と結の間）に起こった4つの事柄を解答して下さい」

実際には、「無関係」や「偶然」といったものが「正しい答え」かも知れませんが、このような結論を出した人は、『思考が浅い』とか『発想力に乏しい』と判断されてしまうに違いありません。

出題の意図は、「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性」といった力を総合的に見ることにあるのでしょうか。学校の成績が良いことと直接的なつながりは全くありません。

いつも子どもたちが取り組んでいる育脳トライアルの問題は、柔軟な発想力や思考力を育てていますが、実は今このような能力が必要とされているのです。

保護者欄 いつもお世話になりありがとうございます。
なかなか学校の成績が良い＝頭が良いの考えが私に根付いてしまっています。
毎月MACニュースを読んで「うんうん、そうなんだ」といって私の頭の中にも入っては
きていますが、でも成績も良くないといけなく、良くあってほしいと思っ
てしまっています。
トライアルを見て正解が多いとホッとしよう自分がいやです。今までの考えを
新しくするって難しいです。
子供がよくおかしなことを言っていて（←大人にとって）「何言ってるの？そんな言ってる人早く宿題
しなさい！」とか「しょうもないことを言ってる人……」とか、親は返してしまっていることがよくあるんですが、
その発した言葉や考えに、上の4つの力が入っている子供でしょうか？ それに親が気がついて
話にのめらいい人ですか？… 親が子供の柔軟な発想や思考をこちらの考えや都合で
こわしてしまわないよう意識してまいります。

※初めは個人的にお手紙で返事しようと思っていたのですが、同じようなご家庭も多いかと思い、MAC NEWSで取り上げさせていただきました。良い題材となるような内容をご記入頂き感謝致します。

（記入者ご本人には掲載許可済みです）

まずお母さんにお伝えしたいのは、正解が多くてホッとしてしまう自分のことを嫌と
思わないで頂きたいということです。MACも塾ですので、当然テストの点数や成績が
どうでもよいなどとは微塵も思っていません。

我々親世代の頃は学校の成績が良ければ、良い大学に行けて、良い大学に行きさえす
れば就職先には困らず、入社してしまえば年功序列、終身雇用、退職金まで計算できた
時代だったので、テストの点数や成績だけ気にしていれば正解でした。

会社も時間とお金をかけて社員教育をする余裕があったので、新入社員にあまり「柔
軟な発想力」や「思考力」を求めておらず、有名大学出身ならばある程度優秀な人材だ
ろうという考えで、有名大学から多くの新卒者を採用していたのです。

なので、親世代が「成績が良い＝頭が良い」と思っていることは当然なのです。

ただ、今の時代は入社試験で先述のような問題が出題されていることを考えると、学
校の「教科」の勉強だけをしっかりとこなしているだけでは、社会で必要とされる人材
としては不十分だということなのです。

ですので、当然のことながら正解が多い（＝テストの点数が良い、成績が良い）こと
は悪いことでは無いのですが、**事前に学習をしたことを覚えているか確認するための『テ
ストのための勉強』よりも、「柔軟な発想力」や「思考力」を伸ばす方が、社会に出てか
らより役立つ、より必要とされる汎用性のある力だ**、というだけなのです。

社会で求められる汎用性のある力、つまり「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性」な
どの力を伸ばしてあげるために、育脳トライアルの問題は考えられています。ご存じの
通り、育脳トライアルは答えが一つでない問題や、答えが合っているかどうかよりも、
どのように考えて答えを導き出したかが重要視される問題が多々あります。

このような問題を通して、生徒たちには上記のような力を伸ばすべく、日々頭を絞っ
てもらっています。

せっかくなので、少しだけですが生徒たちが取り組んでいる問題を解いてみて下さい。
日頃の固くなった頭が少し柔らかくなるかもしれませんよ(^ ^)

ご家庭でできるサポートとは？

今回の感想文で、「子どもの発した言葉や考えに上記4つの力（「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性）」が入っていたりするんでしょうか？」とご記入頂いておりましたが、まさにこの（親からしたらどうでもいいような、おかしなことのような・・・）会話がそれらの力を伸ばします。

以前MAC NEWSでも一度取り上げた、年間300講演をこなす講演家の中村文昭氏はこう話します。

「僕が今これだけ講演会の仕事を頂けるようになったのは、母のおかげです。母はどんなに忙しくても、僕の一日にあったことをオーバーリアクションで最後まで聞いてくれた。

あの頃はこれだけ話を聞いてくれるお母さんを喜ばせたくて、魚とりでも必死だった。遊びでも新しい遊びを開発しようと一生懸命だった。その原動力は『お母ちゃんをもっと喜ばせたい、お母ちゃん的笑顔をもっと見たい』だけだった。お母ちゃんは『あんたはすごい！天才や！あんたなら何でもできる』とよく言ってくれた。だから、自分はなんでもできると本気で思っていた」

結局この経験があったからこそ、『伝えたいことを伝える力』や『仕事の際にどうやって人を喜ばせるか』という考え方に繋がったのだそうです。

この中村氏の話を知ると、親子のやりとりや会話の中に「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性」を伸ばすヒントがあるように感じませんか？

『じゃあ、子供の話をず～～～っと聞いていたら家事は誰がするんですか！?!?!』

という怒りの声が聞こえてきそうですが、だからこそ最大限親子の会話の時間が取れるように、この機会に親子共に時間の使い方を見直すのも良いかもしれません。

うちの子国語が苦手と良く耳にしますが、一番の勉強方法は「会話」です。親子で会話を増やし、上記の力だけでなく国語力も伸ばしてあげて下さいね。

「汎用性のある力」ってなに？

汎用性とは、「あらゆることに役立つ」という意味があります。将来大人になったときに必要とされる「汎用性のある力」とはどんなものなのでしょうか？

当然、学校の勉強も大事なんだけど・・・

学生の皆さんは、当然学校の勉強を頑張らないといけません。ただ、将来社会で必要とされる力は教科の勉強だけでは足りません。

大人になった時、仕事でもプライベートでも全てのことに役立つ汎用性のある力、それが「遊び心」「発想力」「思考力」「柔軟性」などの力です。

これらの力は様々な経験から養われるものなのですが、日常で一番手軽に始められること、それは『会話』です。

まずは家族に今日あったことを話してみましょう。その時は、聞いている人が楽しいと思えるように工夫して話すのがポイントです。

家族以外でも「あのひととまたしゃべりたいな～」と思ってもらえるような素敵な人物になってくださいね。

※一人でゲームやタブレットに夢中になっていたら、この力は身につけにくいですよ。



「僕が話し上手になったのは、

お母さんとの会話のおかげ」

中村 文昭 ～年間 300 講演を行う講演家～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。